

★ 2026年度夏号 発行No.4 ★

萩市消費生活センターだより

消費生活に関する様々な情報を発信する「萩市消費生活センターだより」
最近の消費生活トラブルと対策をはじめ、消費生活モニターから寄せられたご意見等をお届けします。



最近、私たちの消費生活を狙うトラブルや詐欺の手口が、ますます巧妙になっています。県内でも、SNSを悪用した詐欺などの被害額が過去最高を更新するなど、深刻な状況が続いています。

かつて「うそ電話詐欺」と呼ばれた手口は、電話だけでなく、SNSのメッセージ、偽のネット広告や動画、さらにはAI技術を使ったものへと進化しました。そのため、県内でも広報名称を「特殊詐欺」へ改め、より一層の警戒を呼びかけています。

また、1回限りのつもりだったのに定期購入になっていたというネット通販のトラブルや、警察や通信会社をかたる架空請求など、若い世代から高齢者まで、誰もが当事者になり得る身近なリスクです。相手は、私たちの焦りや不安、あるいは得をしたい！という心理を巧みに突いてきます。

そこで今回の特集では、今まさに県内で多発している事例やトラブルの具体例と、被害を防ぐためのチェックポイントを分かりやすくまとめました。

「自分は大丈夫」という油断が一番の落とし穴です。

大切な財産を守るため、ぜひ最後までご覧いただき、日々の暮らしにお役立てください！

山口県の消費生活トラブル最前線！

その人、その電話、その画面：信じて大丈夫？



特殊詐欺

本物の警察はSNSで連絡しません

特殊詐欺とは、直接会わずに電話やネットで相手を信用させ、お金を振り込ませたりカードを盗んだりする犯罪です。

以前は高齢者が中心でしたが、最近は20代や30代の若い世代にも被害が広がっています。SNSやビデオ通話で「逮捕する」と不安をあおる巧妙な手口も目立っています

よくある事例

怪しい電話の着信

警察などを名乗り、「あなたの口座が犯罪に使用されている」「捜査中なので誰にも口外するな」などと、巧妙な嘘や脅し文句で不安を煽ってくる。



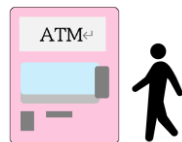
偽の警察手帳や逮捕状が登場！

ビデオ通話などに誘導され、画面越しに警察手帳や逮捕状の画像を見せてくる。身の潔白を証明するために資産を調べる必要があるなどと言われる。



口座振り込み・現金送付の要求

「捜査のために資産を調べる」「身の潔白を証明するために口座を確認する」などと言葉巧みにお金を要求してくる。指定口座に振り込ませたり、自宅等に取りに来たりして現金を騙し取る。



被害に遭わないために…

◆ビデオ通話の警察手帳は偽物

本物の警察がLINEやビデオ通話で手帳や逮捕状を見せることは絶対にありません。ビデオ通話などで見せられる警察手帳や逮捕状は、精巧に作られた偽物です。

◆お金を振り込んでと言われたら「100%詐欺」

本物の警察官や検察官、官公庁の職員が、身の潔白の証明や調査を理由に現金の振り込みや送金を求めることは絶対にありません。

◆電話番号は必ず自分で調べる

必ず自分で調べた、本物の警察署の代表番号にかけ直してください。



SNS型投資詐欺とは、SNS等で知り合った相手から虚偽の投資話を持ちかけられ、金銭をだまし取られる犯罪です。「確実に儲かる」と騙して口座振込や暗号資産の購入を迫るのが特徴で、被害者は40代～60代の中高年・現役世代が圧倒的多数を占めます。

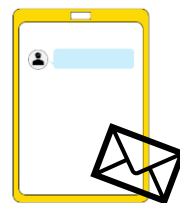
その被害は深刻化しており、2025年の1年間における被害総額は1,288億円と過去最悪を記録しています。



よくある事例

接触のきっかけ

著名人や投資家になりすましたSNS広告や、「あなただけに教える儲け話がある」といったダイレクトメッセージから、LINEなどの通信アプリへ誘導される。



見せかけの利益画面

指定された投資アプリやサイト上では、実際に出資したように見せかけるなどして、多額の利益が出たと誤信させる。



出金のための要求開始

いざ利益を引き出そうとすると、手数料や税金などの名目で、更なる送金を要求される。
最終的に連絡が取れなくなることも多い。



被害に遭わないために…

◆投資の世界に「絶対儲かる」ということはない！

プロでも損をするのが投資です。AIが自動で稼ぐ、勝率99%などは全て嘘です。
犯人は“特別な先行投資”“あなただけに教える”と特別感を出してきます。

◆振込先が個人口座は絶対ない

投資会社や証券会社が、個人名の口座に振り込ませることは絶対にありません。

◆金融庁の登録及び公式サイトURLを照合する

日本国内で投資を勧誘するには金融庁への登録が必要です。「金融庁の免許・許可・登録等を受けている業者一覧」で検索しましょう。また、相手から送付されたリンクからではなく、必ず検索エンジンで公式サイトを自ら探してURLを比較してください。

◆出金のための「追加請求」に1円も払ってはいけません!!

利益が出たので引き出そうとした際に、「海外での税金がかかる」「システム解除に保証金が必要」と言われたら詐欺が確定しています。絶対に払ってはいけません。

SNS投資詐欺

その儲け話、詐欺ですよ





定期購入トラブル

本当に一回きりの注文？

定期購入トラブルとは、ネット通販やSNS広告で「初回限定500円」などの格安広告を見て注文した結果、実際には複数回の継続が条件となる「定期契約」を結ばされてしまう問題です。解約を申し出た消費者に対して業者から高額な差額を請求されるケースが多発しており、これは全体の消費生活相談の約1割を占める深刻な社会問題となっています。

よくある事例

説明文に気づかず注文！

SNS広告などに表示されたお得な商品を、「初回解約時は通常価格との差額を支払うこと」等と小さく書かれていることに気づかずに、1回だけのお試し気分で注文する。



2回目が届いてびっくり!!

1回きりと思っていたのに、商品の2回目が届き、複数回の購入(定期購入)になっていたことに気づく。



初回代金との差額請求

解約しようと業者に電話をしても繋がらない。ようやく繋がって解約を申し出ると、「初回でやめるなら通常価格との差額を支払ってください」と言われる。「いつでも解約可能なはず!」と反論しても、規約に書いてあると言われる。



被害に遭わないために...

◆最終画面や注文確定画面の文字を隅々まで読む

「定期コース」「自動更新」の文字がないですか？

画面を一番下までスクロールし、小さな文字の注意書きまで確認してください。

◆初回解約の条件について確認する

初回解約時の場合の解約条件について確認してください。「初回解約の場合、通常価格との差額を支払うこと」、などと記載されていることがあります。

◆解約方法が現実的かを確かめる

「いつでも解約OK」とあっても、解約方法が「平日の電話のみ」で繋がりにくくなっていませんか？ また、「次回発送の○日前まで」という期限のルールがありませんか？

◆注文確定前に最終画面を保存しておくこと

最終確認画面をスマートフォンで撮影し、証拠として保存しておきましょう。

トラブルになった際、「定期購入だと分かりにくかった」と言える強力な武器になります。



消費生活モニター通信

市では、市民の消費生活の実態、消費者行政に関する施策について広く消費者の声を聞き、消費者行政の推進を図ることを目的として「消費生活モニター」を設置しています。

この通信は、消費生活モニターの方からお寄せいただいた疑問やご意見を集約したものです。



疑問・意見 I

限りある資源と向き合う

中東情勢の影響から、石油がいろんなものに使われていることを改めて知りました。

ポテトチップスの袋も一時は白黒印刷となりましたが、順次、表面はフルカラー、裏面は白黒という表裏で違う印刷仕様に変えるなど、最初はシンプルなものから出発して、次第にカラフルになっています。

今の使い捨ての時代から、今一度振り返り、リサイクルできるものはするなど物を大切にしないといけませんね。子供の頃、大きな鉢を持って近くのお店に豆腐を買いに行っていた時代を懐かしく思います。

市民活動推進課

カラフルなお菓子の袋が突然白黒になったこの事態は、単に“お菓子の袋が変わった”というだけではなく、石油への深い依存とグローバルな供給網の脆さという、現代社会が抱える大きな課題を見事に浮き彫りにしました。

私たちは石油と聞くと、ガソリンなどの燃料を思い浮かべがちです。

しかし実際は、袋を彩るインクやフィルム、スマートフォンの部品や衣類など、身の回りのあらゆる日用品が石油から作られています。地球の裏側で起きた紛争が、日本の商品デザインを変えてしまうほど、世界は密接に繋がっていることに気づかされます。

これまでの製造業は、コストを抑えるために特定の安価な資源に依存し、世界規模のネットワークを築いてきました。これは平時には効率的ですが、ひとたび世界情勢に影響があると、システム全体が麻痺する脆さを秘めています。

やがて、中東情勢が落ち着き、お店の棚にも元の光景が戻ってくるでしょう。しかし、私たちが抱えるリスクや資源の限界という根本的な問題は一つ解決していません。

目の前の小さな変化の裏にある、世界の仕組みや地球環境を再度見つめ直し、環境に優しい代替素材の開発や地域循環型の社会など「新しい選択肢」を探さなければならない時が来ています。

疑問・意見2

AI依存への懸念&窓口サポートの課題

① 携帯電話でAIと会話する引きこもりの利用者が増え、依存関係にあると、テレビで放映していました。社会的に孤立したり周囲との関係が希薄になった場合に、AIとだけ会話し続けていくことは、考え方が偏るのではないかと心配になりました。

② 先日、自分の携帯電話に不具合が起こるようになり、市内の携帯ショップに修理を依頼しました。携帯ショップに何度か足を運び、不要なアプリなどを削除してもらいました。携帯会社の窓口では、マニュアル以外のことは教えてもらえず、詳しい説明がないため、もう少し詳しい説明が欲しいと思いました。

萩市消費生活センター

① 「否定しない」「24時間対応してくれる」AIの特徴に惹かれ、心の支えにする人も急増しているようです。自分のすべてを理解して受け止めてくれると感じる反面、その過剰な同調性が深い依存を招く危険性も指摘されています。AIの課題の一つとして、事実に基づかない誤った情報をもっともらしく生成することがあるため、利用者は答えが正しいかどうかを確認する必要があります。AIには多くの利便性や効用がある半面、副作用やリスクもあることを認識して利用されることをお勧めします。

② 携帯の不具合に関して、携帯会社からの説明が分かりにくい場合は、消費生活センターで詳しく経緯を聞き取り、携帯会社へ確認することも可能ですので、ご相談ください。

疑問・意見3

リモコンの仕様について

最近、リモコンなどがコンパクトになって、使い勝手がよくなった半面、高齢者には扱いにくくなったものもあるように思います。

暑い日が続き、エアコン頼みの毎日ですが、ある日実家に行ってみると26.5℃の暖房、ある時は20.5℃の冷房になっており…ありゃ？大丈夫か？と思いました。白内障のある母には、リモコンの字が見えにくいようで、冷房の青い線、暖房の赤い線がよ〜く見ないと分からないのが現状です。もう少し高齢者にも分かりやすい表示のあるリモコンがあれば嬉しいかなと思いました。

テレビのリモコンは黒色ですが、照明とエアコンのリモコンは白色なので、マジックですぐ分かるように印をつけています。一般用と、高齢者向けの大きな文字のリモコンを選べると良いなと思いました。



萩市消費生活センター

消費者が事業者意見に適切に伝えることは、事業者の提供する商品やサービスの改善を促すことにつながります。これは、自身を含め、多くの消費者や社会の利益となりますので、今回のような要望は、ぜひ、メーカーのお客さま相談室等に伝えてみてください。

5月に萩市から暮らし応援商品券が配布されました。1人につき共通券10枚、専用券5枚、有効期限は8月31日です。共通券は、日頃から食料品を購入しているスーパーで使えるので、すぐに使ってしまいましたが、専用券はなかなか利用できません。以前に配布された時も思いましたが、もう少し有効期限を延ばして欲しかったです。車を運転しない人は、あちこちお店を回るのは困難です。3ヶ月ちょっとでは使いにくいです。せめて半年あればと思いました。

また、ひとり暮らしの人は1回にたくさん買い物しないので、専用券を500円券にすると使いやすいのではと思います。

産業政策課

このたびは、暮らし応援商品券につきまして、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。

まず、有効期限についてでございますが、令和8年8月31日までの約3か月間と設定しておりますのは、現在続く物価高騰の影響により、市民の皆さまおよび市内事業者の皆様には大きなご負担がかかっている状況を踏まえ、迅速な生活支援と事業支援の両立を図るためでございます。

短い期間の設定となり、ご不便をおかけする面もございますが、何卒趣旨をご理解いただき、早めのご利用をお願いします。

次に、商品券の券種についてのご指摘でございますが、500円券は細かくお使いいただきやすい利便性がある一方、印刷枚数の増加による製作コストの増大という課題もございます。

萩市といたしましては、限られた予算の中でできるだけ多くの支援金額を市民の皆さまにお届けできるよう、今回は1,000円券での発行とさせていただきます。

この度いただきましたご意見は、今後の施策検討の貴重な参考とさせていただきます。

萩市共通商品券協同組合HPより



疑問・意見 5

エアコンの適切な使い方

毎日、エアコンをつけています。光熱費がどのくらい上がるかと心配です。でも熱中症にならないようにエアコンをつけなさいともよく言われます。上手なエアコンの使用方法、電気代がかからない方法はないでしょうか。



市民活動推進課

暑い夏を健康に乗り切るために欠かせないエアコンですが、どうしても電気代が気になりますよね。いくつかのコツを意識すると、健康と家計への優しさをしっかり両立できます。

まず、命を守るための熱中症対策です。夏の快適な室内環境の目安は、室温28度以下、湿度50～60%です。エアコンの設定温度を28度にしても、直射日光などで実際の室温は高くなりがちですので、お部屋の温度計をチェックしてみてください。また、少し暑いと感じる時は設定温度を下げる代わりに、風量を強めたり、扇風機やサーキュレーターを回して室内に風を起こしたりするのがおすすめです。体感温度がぐっと下がり、心地よく過ごせます。

次に、光熱費を抑える賢い運転ルールです。エアコンは運転を開始する時に一番電気代がかかるため、30分程度の短い外出なら「つけっぱなし」の方がお得です。運転モードは「自動」に任せ、風向きは冷気が上から下へ自然に広がるように、水平に設定しましょう。さらに、2週間に1回フィルターを優しくお掃除するだけで節電に繋がります。カーテンやすだれで窓からの直射日光を遮る工夫も効果的です。

エアコンの適切な使い方を知って、無理なくこの夏を乗り切りましょう。

疑問・意見 6

ごみの戸別収集について

現在、市内では各家庭で燃えるごみを自宅前に出す戸別収集ですが、旧郡部では収集場所まで持って行く方式となっています。高齢で足の悪い方にとっては収集場所までごみを運ぶことが負担になっているようです。

今後、旧郡部でも戸別収集を検討していただくことはできないでしょうか。



環境政策課

この度は、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

さて、旧郡部については基本にごみ集積所での収集となっており、ご要望全ての場所で戸別収集するのは難しいのが現状です。

しかしながら、集積場所にごみを出すことが難しい方からの相談があった場合は、市や地区社協が実施しているごみ出し支援サービスを紹介し、ご利用の検討していただいているほか、ご相談の内容により個別の対応を検討させていただく場合がございます。

ご不便をお掛けしますが、今後とも理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「食品ロス」という言葉を最近よく聞きます。恥ずかしながら、私はこの言葉を知るまで、食べ物をよく無駄にしていました。例えば、多めに作った夕食を翌日食べきれずに捨てたり、メニュー変更で買った食材を腐らせてしまったり……。今では食品ロスをなくす努力をしていますが、2人で食べきれる量を2〜3品作ると、どうしても食材が余ってしまいます。残った食材で何を作ろうかと考えてもピンと来ず、いつもスマホでレシピを検索しています。

そんな中、ニュースで「消費期限の表示日数を今より少し延ばす見直しが進んでいる」という話を見かけました。そもそも今の消費期限はどのような基準で決まっているのでしょうか。期間を延ばしても、本当に安全なのか気になっています。

また、最近は物価高でも頭を抱えています。市や国もいろいろと考えてくれているとは思いますが、やはり家計へのダメージは避けられません。

今後も何か効果的な対策があるのか気になるところです。



市民活動推進課

この度は、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

まず、2人分のちょうどいい量を作ること、残った食材を上手に使い切ることは、本当に難しいですよ。市では、そうした“もったいない”という気持ちを応援すべく、さまざまな情報発信を行っています。例えば、皆様の地域にお住いの食生活改善推進員や、健康増進課が公式に開設しているクックパッドのキッチンを通じて、余った野菜の皮まで美味しく食べる「エコクッキングレシピ」などを発信しています。これからも日々の献立づくりのヒントになるような情報を分かりやすくお届けし、皆様の素敵な取り組みに寄り添ってまいります。

次に、消費期限についてのご質問ですが、この見直しは消費者庁が定めた「食品期限表示の設定のためのガイドライン」の改正に基づくものです。現在の消費期限は、科学的な検査（微生物の増殖試験など）によって、客観的に安全が確認された限界の日数をまず割り出しています。その日数に安全係数（余裕を持たせるための数値）を掛け算し、かなり手前の安全な日付を表示することが義務付けられています。

今回の消費者庁による見直しは、近年の包装・保存技術の向上によって、食品の傷みが従来よりも大幅に遅くなっている実態に合わせたものです。安全性の確保を大前提とし、科学的・合理的な根拠が認められたものに限り、過剰な廃棄を防ぐ目的で適正な期間へと見直されています。安全性には十分な根拠が用いられますので、どうぞご安心ください。

最後に、長引く物価高騰による家計への影響についてお答えいたします。ご家庭で様々な工夫を重ねられているなかにあっても、物価高が生活へ深刻な負担を及ぼしている現状につきましては、市といたしましても大変重く受け止めております。

今後の物価高騰対策につきましては、市民の皆様の生活実態を十分に考慮しながら、国や県の動向、また新たな支援策の進捗状況などを引き続き注視してまいります。その上で、地域の実情に応じた効果的な支援について、今後とも適切に検討を進めてまいりたいと考えております。今後とも市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今夏から「酷暑日」という気象用語が設けられましたが、早速、連日のように酷暑日の発表がされています。本当に心配で危険な暑さです。

私には、かつて熱中症で祖母を亡くした経験があります。当時は今ほど熱中症対策の呼びかけが盛んではありませんでした。高齢者は若者よりも暑さを感じにくく、体温調節のための汗もほとんどかきません。そのため、本人の自覚がないまま水分補給を十分にできていないことがあります。

私のような思いをしないためにも、周りがこまめに声掛けをする必要があります。熱中症はお年寄りだけでなく、どの世代にも対策が必要です。こまめな水分補給、塩分補給、適切なエアコンの利用など、しっかり対策して、皆で元気に夏を乗り切りたいものですね！

健康増進課

熱中症予防

貴重なご意見ありがとうございます。

ご祖母様の辛いご経験を通じた「高齢者の暑さや喉の渇きへの自覚の乏しさ」や「周りからの声かけの重要性」のご指摘は、命を守る上で大変貴重なメッセージであり、深く受け止めております。

高齢者の方は体温調節や喉の渇きを感じにくく、本人の自覚がないまま重症化するリスクが高いため、ご指摘の通り「周りが意識して声をかけ、水分補給や適切なエアコン使用を促すこと」が不可欠です。また、熱中症は高齢者だけでなく全世代にとって命に関わる身近なリスクです。

今回いただいた貴重なご意見を、今後の活動にしっかり反映させ、一人ひとりの予防意識の向上とともに、地域全体で見守り合える環境づくりに努めてまいります。皆様がこの厳しい夏を元気に乗り切っていただけるよう、引き続き情報発信を行ってまいります。



出典：「熱中症予防のための情報・資料サイト」（厚生労働省）

今年も河川海岸一斉清掃が実施され、市内の各地域住民による清掃活動で、道路沿いや河川周辺が随分と綺麗になりました。しかし、高齢化や担い手不足により参加者が減少しており、これまでと比べると草刈りをされていない市道もあります。道沿いの樹木が垂れ下がり、車が走行困難と深刻な状況も…。

ある地区の区長から総合事務所に伐採を要望したところ、地元業者による伐採作業を実施してくれました。予算等の面で難しいとは思いますが、市民の要望への即時対応は有難いです。草刈り作業は地元業者だけではなく、地域の住民ボランティアや市道草刈りサポーターにより、維持管理に努めていただければと思います。その際はボランティアへの対応として、燃料代等の実費を支給する等の対策を検討していただきたいです。

以前、我が家が救急車を要請したところ、普段は交通量が少ないため道路の両端に草が茂り、道の上には木が垂れ下がった状態の路線を通して来られました。救急車両が通る路線が決まっているからとのことでした。普段から緊急車両が通る路線の維持管理はしてあると思いますが、点検がなされているのか少し心配です。今後、ますます人口減少や高齢化が進んでいく中で、住みやすい地域づくり、環境づくりのために予算面での検討をお願いしたいです。

土木課の市道維持管理については、以前投稿された消費生活モニター通信の回答で理解しましたが、新たな手法の検討に期待しています。

土木課

日頃より道路の清掃や美化にご協力いただいている市民の皆様には、心より感謝申し上げます。少子高齢化や人口減少に伴い、地域での草刈りなどを行う担い手が減っていることは、市としても大変重要な課題であると受け止めております。

ボランティア活動への支援につきましては、河川海岸一斉清掃やきれいな萩おまかせ制度などの取組において収集用ごみ袋の支給やごみの回収、保険への加入などの支援を実施しているほか、河川海岸一斉清掃におきましては草刈機の損料助成も実施しております。

また、これまで地元委託により実施していた草刈りが困難となった市道につきましては、今年度より新たに市道草刈りサポーターを募集し、市道の維持管理活動の推進と活性化を図っているところです。

ご提案いただきましたボランティア活動への燃料代等の実費支給につきましては、他自治体の事例なども参考にしながら、今後の支援のあり方について研究してまいりたいと考えております。

一方で、救急車などの緊急車両が安全かつ円滑に通行できるよう、道路環境を適切に保つことは非常に重要です。市では、市民の皆様からの連絡やパトロールをもとに、通行の妨げとなる樹木や雑草の早期発見と対応に努めております。今後も状況を踏まえながら、市道の維持管理に取り組んでまいります。

今後とも市民の皆様が安心して暮らせるよう、効率的な市道の管理方法に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



他市に住む私の母には少し認知があり、投薬治療を受けています。93歳の父と二人暮らしで、日用品や食材は宅配サービスを利用しています。母とその宅配サービスの方との会話の中でお弁当の宅配の話になり、母が「食事を作ったりが大変だから、お弁当があったらいいねえ」と言ったそうです。「いいねえ」と言ったので、お弁当の宅配が始まったというわけです。何も知らなかった父はびっくりです。もしかしたら「持ってきてもらおうか」と言ったのかもしれませんが、母は言ったことを忘れていて…。こういったことは良くある話かもしれませんが。

お弁当は1食なら高額ではなくても、毎日となると結構な金額になります。近くに娘たち(3姉妹)がいてお惣菜などを届けていましたが、本人にはそれだけでは不安だったのかもしれませんが。最終的には近くの妹が対応してくれて助かりましたが、お話の流れだけで宅配の手配まで進んでしまうのは少し驚きました。

認知症の有無など判断が難しい面もあったかと思いますが、できれば事前に他の家族へ一言確認をいただけると有り難かったです。

萩市消費生活センター

情報提供ありがとうございました。高齢の親だけの生活を見守られている子どもさんの立場からは、どういう経緯でこのようになったのか、お母さんご自身から詳しく聞くことが難しい面があるため、非常にやきもきされたことと思います。

詳しい経緯を聞かれた上で困ったことがありましたら、ぜひ消費生活センターにご相談ください。

ちょっと待ちなよ！ たかおさん

第4話「油断大敵！身近に潜むマダニの罠」

マダニは草むらに生息する虫です。名前にダニがついています。クモの仲間です。普段は1〜4ミリと小さいですが、吸血すると約10倍の大豆サイズになります。マダニに噛まれても、かゆみや痛みがほとんどないため、たかおさんのように気づかないことも多いです。

マダニ自身に毒はありません。怖いのは、恐ろしい病原体を体内に持つており、血を吸うときにそれを人間に媒介することです。とくに代表的なのは「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」です。発熱、全身倦怠感、消化器症状等を引き起こし、重症化すると血小板や白血球が極端に減少、多臓器不全や脳症を引き起こします。日本国内における致死率は約27〜30%と非常に高くなっています。

感染予防ワクチンがないことから、マダニに噛まれないことが最たる防御です。草むらに入るときは長袖・長ズボン・長靴を着用し絶対に肌を出さないこと、有効成分が配合された虫除けを使用すること、草むらや藪には不用意に入らないことなどに注意しましょう。

万一、噛まれた時は絶対に自分で引き抜いたり、潰したりしてはいけません。速やかに医療機関を受診してください。

萩市役所近くでも数分で捕まえられるほど、マダニはすぐそばに居ます。油断は大敵です！



編集・発行

萩市消費生活センター

Hagi city consumer service center

所在地 〒758-8555

山口県萩市大字江向510番地 市民活動推進課内
TEL(0838)25-0999

受付時間 月曜～金曜(祝休日及び年末年始は除きます)
午前8時30分～午後5時15分